

第2学年文系生徒の皆さま

平成30年4月17日(火)

S S 事業部

## 平成30年度 第2学年課題研究Ⅲ(文型)の実施について

### 1. 課題研究の目的

「課題研究」は、自ら課題を見つけ、その課題を解決するための方法を設定し、グループで研究を行い、科学的に探究する能力と態度を育てる科目である。創造的な思考力を養うとともに論理的な文章構成をし、ディスカッションによって思考を深め、ポスター発表することを意図している。

特に文型では、自然科学・科学技術に対する興味関心とともに、論理的思考力を高める。自然科学・科学技術の内容を考慮しつつ、人文科学・社会科学に枠組みを広げ、自ら進んで探究できる課題設定をする。

### 2. 担当

2年生文型担任・副担任

### 3. 配当時間(1単位時間)

別紙参照

### 4. 配慮事項

- ・4クラス横並びで授業時間をそろえて実施する。
- ・興味関心を持って自ら進んで探究でき、また深まる課題設定をする。
- ・分析・調査でなるべく「データの分析」を利用する。
- ・図書館とコンピュータ教室は、グループ活動の必要に応じて使えるように確保するが、第3学年や第2学年理型と調整する。

### 5. 授業展開(概要)

#### 1) 全体説明

4月17日(火)7限

#### 2) 課題設定・グループ決め

大きく4つの内容に分け、1～4のいずれの内容でやりたいか希望をとる(第1～第3希望まで)。希望内容の詳細について、大まかに書く。

内容	担当	詳細(トピックス例)
国際・ESD	鈴木隆介	平和問題、ゴミ問題、戦争、国際問題(臓器売買等)、エコな生活、エネルギー利用
	田中紀子	
人文科学	真野はるな	安全な野菜、季語、農業の歴史、もの作りの経営学、科学的思考(哲学)、郷土史、教育問題
	杉本正樹	
社会科学・スポーツ科学	辻井俊介	法律、死刑制度、情報モラル、社会保障制度、原発事故、科学技術の発見の歴史、中世の科学史、時代における科学(例えばランプ)の役割、人類の100m速度・人の聴力、
	伊藤和之	
自然科学(科学史)	梅村泰司	科学史、科学技術の内容、航空機、理科・数学の内容、心理学分析(心の変化のアンケート→分析)
	椎葉淳子	

・希望をとった後、各担当教員で3～5名のグループで活動できるよう、グループ決めをする。

・2時間目以降は、グループ決めの後各グループで活動する。グループ毎に話し合い、具体的に研究内容を決定する。

・調べ学習・探究活動・課題研究は、すべてグループ活動とする。

### 3) 調べ学習・探究活動・課題研究

・皆さんの主体性・興味関心を大切にという、課題研究のあり方・考え方を尊重する。

・研究が滞ったときは担当教員に積極的に意見を求める。

・友人のアイデアもよいものは取り入れる。

### 4) 発表

・グループ毎に成果をポスターにまとめる。現時点では、1月末か2月上旬にポスター発表(または口頭発表)を考えている。